



金子 あきよ

議会報告

2025年2月議会

代表質問

物価高騰のなか

「くらしの声に応える予算」を

さいたま市役所から ジェンダー平等を

男女共同参画推進本部に
おける女性の比率

2.6%

政策及び方針立案する女性中心の組織を市長直轄の
部署につくることを提案。

市職員の男女賃金格差

82.5%

パートタイム会計年度任用職員の8割が女性。処遇改
善・正職員化で格差是正を。

女性の時間外勤務手当の
支給額

64.6%

育児事情によって女性職員の勤務時間が制限されて
いる。育児休業や育児時間を取るのは女性、その分男
性が時間外勤務を多く引き受けるという職場の風潮を
市役所の中から変えるべき。

いま、物価高騰のもとでどこでも「くらしが苦し
い」「生きていくことが大変」と切実な声が寄せられ
ています。2月議会は新年度予算を決める大切な議
会。代表質問でも、予算委員会質疑でも、市民のく
らしを支える新年度予算を、と求めました。

市民からの声は…

- 「命と暮らしを守る相談会」に300人が参加。
- 小学生を育てるシングルマザー。昨年同月に比
べて食費が5万円増。
- サービス付き高齢者住宅で職員に購入を頼んだ
ペットボトルの水に1900円の請求。お金のあ
るなしで介護の質も量も決まってしまう。
- 中華料理屋さん。価格の3割で設定していた仕
入れ価格がこの間6割にもなっている。メニュー
に転嫁できず儲けがほとんど上がらない。

でも新年度予算は…

物価高騰対策の合計額は88.9億円。（予算総額の
0.8%）。しかもその多くを占めている「定額減税補足
給付金の不足分約68.3億円」は全額国費。これでは物
価高騰対策に、本気度がまったく見えません。

実現します!

環境空間整備計画が予算化

これまで要望してきたJR新幹線・埼京線
の緩衝地帯である環境空間の整備。まちの
環境という面からも問題で、市民からの苦
情も寄せられる状況でした。

来年度、緑地整備を進めるために基本計
画を策定、順次実施設計、整備がおこなわ
れます。写真のような状態を1日も早く改
善できるよう求めています。



実現させよう!

公園開設時にはトイレの設置を

新設される公園でトイレを設置する面積の基準
は「街区公園で広さ2500平米」。ところが来年
度計画されている内容5丁目公園は4400平米な
のにトイレは設置しないというのです。「トイ
レは臭いがするので」と言って、要望があるにも
かかわらず、設置しない理由をならべるような答
弁。こんな姿勢は問題です。公園開設の時点でト
イレを設置すべきと求めています。



2025年度予算は、さいたま市史上2番目に多い1兆1663億円となりました。そのなかで、物価高騰対策のための予算額は約89億円、全体予算の0.8%です。市民が本当に必要としているのは、くらし、福祉、子育て、教育、地域経済、災害対策の充実ですが、一方で大型公共事業はこんなに増えました。私たちが納めた税金の使い方、みなさんはどう思いますか？

こんなに増えた 大規模公共事業

大宮駅グランドセントラルステーション化構想

大宮駅GCS化構想は、大宮駅の駅前広場を中心とした交通基盤整備、まちづくり、駅機能の高度化を三位一体ですすめる構想。いくらかかるのか、いつまでかかるのか分からない、天文学的な大事業。

さいたま市役所新庁舎建設

浦和区からさいたま新都心に移転が決定した、さいたま市役所。当初は220億円の予算だったが、今は**400億円以上**に。さいたま新都心駅からのデッキや、隣に建設される民間企業が利用する建物も予算に含まれており、予算を削減するどころか膨大になっている。

次世代型スポーツ施設（仮）建設

5000人収容のミニアリーナ建設。当初市民に示された予算は52億円だったが、今や**2.5倍の131億円**に。さらに軟弱地盤の改良などのコスト増が予想される。参画意欲のある企業からも「1万人規模でなければ採算は取れない」と指摘されている。

武蔵浦和学園義務教育学校建設

整備基本計画（133億円）・基本設計（183億円）・補正予算で**220億円**。それでも建設事業契約は入札不調。

約245億円分の 予算組み替えを 提案



予算組み替え提案を提出する党市議団

（仮称） 農業及び食の流通・観光産業拠点建設

事業費**232億円**。と畜場と道の駅をあわせた施設はさいたまスーパーアリーナ4つ分。地盤改良や資材高騰で大きく費用は増える見込みだがいまだ不明。道の駅の収益が過大に見込まれており、自然環境破壊の懸念も大きい。

地下鉄7号線延伸事業

事業費**1520億円以上**。市も認める「巨額のプロジェクト」。埼玉高速鉄道浦和美園駅から岩槻駅まで7km。建設の見通しは不明。中間駅のまちづくり（1万人規模）の費用も不明。コミュニティバスやデマンド交通など身近な公共交通こそ優先課題。

浦和駅西口再開発事業・市民会館うらわ

総事業費**709億円**のうち、公的資金は**448億円**。27階建てマンションは、ひと部屋5億円の部屋もあるとのこと。儲かるのは企業ばかり？市民会館うらわの建設費も、**167億円**と巨額に。

予算組み替えで 実現しよう！

- 介護保険料の引き下げ **25億円**
- 給食費（副食費）無償化 **27億6000万円**
- 学校給食費無償化 **56億円**
- 小規模事業者へ支援金を **20億円**

財源はどうするの？

- 各種基金の一部取り崩し **160億円**
- 地下鉄7号線整備基金積立の中止 **7億円**
- 義務教育学校建設の見直し **46億円**
- 大阪・関西万博自治体催事事業 **5101万円**



ほかにもこんなムダな事業が…

人形と盆栽を展示 大阪・関西万博に5日間で5101万円

万博に5日の出展で5101万円の予算を計上。1日約1000万円の予算をかけて、人形と盆栽を展示する予定です。海外パビリオンの出展とりやめが相次ぎ、「184日間の期間を地方自治体の数珠繋ぎ出展で乗り切る」という国からの圧力に屈したかたちです。さらに、「さいたま市の香り」という謎の事業に360万円の予算をつけますが。活用方法も決められていませんでした。たけこし連市議の予算委員会の質疑で、市も「この予算は高いと思う」と正直に答弁しました。

「さいたま市みんなのアプリ」物価高騰対策になったのか？

国からの物価高騰対策補正予算11.8億円を、「さいたま市みんなのアプリ」のポイント還元で全額活用したさいたま市。通常の3%還元を33%還元にするために、この予算を投じました。同キャンペーン期間は4月27日まででしたが、3月2日に前倒しで終了。

早期終了の要因となったのが「市民以外も使えます」と宣伝した、市の公式サイトや家電量販店の広告でした。この事業は、物価高騰対策になったのか。もっと市民のために使えたはずです。